

第5回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 議事要旨	
日 時	令和4年1月27日（木）16時00分～18時00分
開催場所	中屋敷地区センター 小・中会議室
出席者	参加者：14名 事務局：都市整備局 上瀬谷整備推進課
議 題	1 前回までの懇談会での主な意見 2 A,B区間の整備イメージ（案）について 3 今後のスケジュールについて 4 意見交換
概 要	<p>議事の1から3を事務局から説明した後、意見交換をおこなった。</p> <p>（主な発言要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○模型を見ることで道路幅員が広くなると感じた。桜のアーチは難しいが、桜を植えることで華やかさは出ると思う。 ○桜の密集度は無くなるが、花が目線に近く見やすくなり、雰囲気作りという面では樹高が低いのは良い。今までのイメージがあるので、色が近いコシノヒガンが良い。 ○コシノヒガンの方がソメイヨシノに色が近く、イメージを継承できると思う。樹形も傘型であるため、夏は日陰になり歩行者に良い。 ○模型を見ると、色的にヨウコウの方がきれいな気がする。 ○ヨウコウよりコシノヒガンの方が、海軍道路の桜並木に対する区民の想いを反映していると思う。ただ、カラスが巣を作る等の課題は残っている。 ○桜は公園等に植わっていて、その下で食事などをするという楽しみ方があるが、道路ではそれができない。街路樹には一年中、葉をつけている常緑樹がイメージに合っている。 ○A,B区間の桜に対しては反対しない。どうしても今のレガシーを残したいのであればソメイヨシノにするしかないが、欠点としてカラスが巣を作るという問題がある。 ○A,B区間はヨウコウで良いと思う。植わっていないより植わっていれば良い。 ○今までの意見と変わらず、ヨウコウが良い。周辺住民やそれ以外の意見も重要だが、道路管理者である瀬谷土木事務所の意見も踏まえなければいけない。 ○街路樹に桜を植えることに反対はしないが、基本的に桜は公園で良いと思っている。桜の時期の渋滞についても、検討を行ってほしい。 ○色合いについてはコシノヒガンの方が良い。桜の根が農地に入るなど、問題のある場所には桜を植えない方が良い。 ○道路が広くなるので、ある程度大きくなる樹木でも良いと思う。色はコシノヒガンが良い。 ○花の色は近隣の意向に沿うべきだと思う。まずはA,B区間に桜を植えるかどうかという確認をとってから樹種の検討をするべき。 ○樹種は色合いからコシノヒガンが良いと思うが、すでにヨウコウを植えている

	<p>所との繋がりを考えるとヨウコウでも良い。桜を植えることによる近隣の農地への影響やカラスの被害への対策は十分に検討してほしい。</p> <p>○樹種について、区民全体にアンケート調査を行うことは難しいかもしれないが、近隣住民と子供たちに意見を聞くことが理想。</p> <p>○この場で樹種を決定することは難しい。この場では大卒の意見を聞いて、それを踏まえて近隣住民や若い人が方向性を決めていく方が良い。</p>
資料	<p>第5回 海軍道路の桜並木に関する懇談会 次第</p> <p>資料1：前回までの懇談会での主な意見</p> <p>資料2：A,B区間の整備イメージ（案）について</p> <p>資料3：今後のスケジュール</p>

■ 模型写真



ヨウコウ（総幅員 31.0m）



コシノヒガン（総幅員 31.0m）



現況（総幅員 18.0m）